

総合科学部アンケート

今年を、生時代をどう過ごすか、という問いかけが、総合科学部には、学生生活の中心を占める。総合科学部は、学部生にとって、どのような存在なのか。その答えを、今年1月に実施したアンケートから探る。

●調査の概要

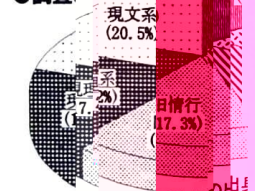


図1. 回答者の出身学部別の割合

第1回アンケート(1978)から第19回アンケート(2017)まで、合計2,478名の卒業生が参加した。今回は、3月10日まで返送された2,478名の卒業生のうち、1,211名が参加した。アンケートの結果は、2月10日まで返送された2,478名の卒業生のうち、1,211名が参加した。アンケートの結果は、2月10日まで返送された2,478名の卒業生のうち、1,211名が参加した。

部に行くと 卒業生85%

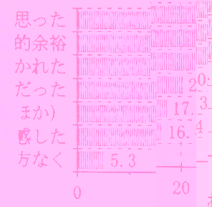
1978年の卒業生を世に送り出し、現在の総合科学部を創設した。この間、自己点検・評価を行い、現在の総合科学部を創設した。この間、自己点検・評価を行い、現在の総合科学部を創設した。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。



総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。



12. 総合科学部を選んだ理由

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

12. 総合科学部を選んだ理由

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

12. 総合科学部を選んだ理由

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

12. 総合科学部を選んだ理由

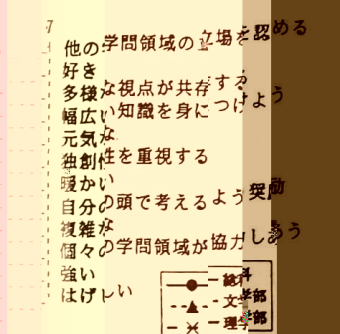


図5. 学生生活を表すキーワード

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

総合科学部は、今年1月に実施したアンケートの結果を踏まえ、21世紀社会のニーズに合わせた授業の導入を進めている。詳細は別の形で行う。

12. 総合科学部を選んだ理由

項目に賛成2点、どちらとも言えない1点、反対0点として換算し、次元ごとの項目数×10]を評価点として入算した平均点を図6-5.に示す。

学部の風土

学部の全体的な雰囲気は「活気があった」9.7%、「活気がなかった」4.2%、残り6.1%が「どちらとも言えない」と答えた。「学生どうしの仲間意識を忘れた」「強く、総科出身であることや連帯感を感じる人が60%を超えている」「誇らしき時期別に『学部の風土』評価点代(入学中期群が高く初期群が低い。

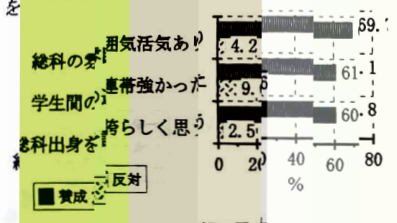


図6-1. 学部の風土

教官の教育姿勢

教官の教育姿勢は概して「熱心」として評価(62.5%)が「不熱心」(5%)をはるかに上回る。しかし「総合科学部の理念や理想を追求する意気込みの感じられる教官が多かった」と「少なかった」は拮抗している。「教官どうしは概して「協調」と「対立」が20%程度とも言えない」としている。この傾向は年代別に評価が低下する傾向を示している。

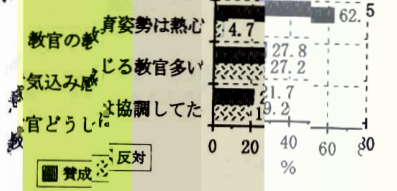


図6-2. 教官の教育姿勢

卒業
【卒業
本の33
である
ると、
と、
見
作成
卒業
卒業
る。「
のため
分
系5
系1
者の方
る。年
本論の
に
卒業の
聴講
73.3
た
自分の
専門
スの
授業
コース
付
業内容
単位修
系と
「と
「充実
め
もの
位の
「単

表2. 総科の説明方法

カテゴリ	言及率
1. 学際性とコース制以外の	51.5%
2. 教育特色という用語を用いた説明	24.0
3. 学際性・総合科学への言及を含む	14.0
4. 教養部という用語を用いた説明	13.1
5. 小さな総合科学にたとえた説明	8.9
6. 構成員の組織や人間関係	5.2
7. を伝える説明の名称の由来	3.8
8. 総合科学の何を説明するで何とでもなる学部」など	3.8
9. その他	9.4

- 旧地域文化
- 旧社会文化
- 旧環境科学
- 旧情報行動
- 人間文化
- 地域文化
- 社会科学
- 外国語
- 数理情報
- 自然環境
- 物質生命
- 生体行動

図9. 子どもが

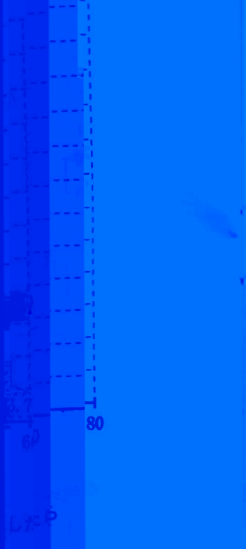


図9. 子どもが

コメントの学部の評価的態度別
 図8の通りで、回答者全体の40%弱、
 肯定的である。
 53%が好意的

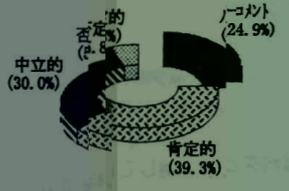


図8. 総科を説明するコメントの評価性

卒業生のライフスタイル

表3. 年代別

年代	独身・仕事継続	結婚・仕事継続	子誕生・仕事継続	その他
男性	30.0%	73.3%	6.7%	2.0%
女性	2.8%	1.1%	2.8%	10.8%

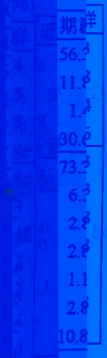


図9. 子どもが

わが子に総合科学をすすめますか
 将来、あなたの子どもや身内から、広
 受験しようかどうかを相
 総合科学部を受験をすすめますか
 した場合、あなたは「賛成して受験をすす
 設問への回答は「賛成して受験をすす
 37.1%に対して「受験はすすめない」
 である。「その他」が合わせて55%を占め
 ちらでもない現在の社会的状況や家
 回答者の現状の社会的状況や家
 によって変動する指標ではあるが、総
 族状況評価の1指標と見なして、参考まで
 総合科学に出身コース別の賛成・反対率を示し
 図9

*協力のお礼と
 上記の他に、就職
 の設問に回答してい
 に懇切なご意見や
 方々をはじめ、ご協
 礼を申し上げます。
 作業をすすめてい